

**10**  
YEARS  
ANNIVERSARY

# YOSANO TOWN



織りなす人の手帖

与謝野町

# 織りなす人々と、織りなされる町。

京都府北部丹後半島。

大江山連峰、野田川、阿蘇海という豊かな自然に囲まれた場所。

私たちの町は、「ものづくりのまち」として、千三百年も昔から手仕事とともに、文化を織りなしてきました。

この町を織りなす人、それぞれが知恵と技術を磨き、家族と暮らし、将来を想う姿には、生きていくための学びや発見があります。

この手帖が、与謝野町の「いま」を知り、「これまで」と「これから」を感じ、私たちの町をもっと好きになるきっかけとなることを願っています。

与謝野町長 山添藤真

## 町民憲章

(平成20年1月制定)

わたしたち与謝野町民は、豊かな自然と歴史に育まれた郷土を誇りに思い、  
お互いが思いやり、元気あふれる住みよい町を築くため、この憲章を定めます。

- 一 自然を守り環境美化に心がけよう
- 一 伝統と文化を大切に学びの心を育てよう
- 一 きまりを守り自律心を養いよう
- 一 あたたかい家庭と地域の絆を大切にしよう
- 一 健康で仕事に励み豊かな未来をつくりよう





# 与謝野町歌

作詞 星合 節子 補作詞 塩見 裕

作曲 成毛 敦

大江の峰を 輝かせ  
希望に満ちて 日が昇る  
あふれる緑に 恵まれて  
ふれあう心の あたたかさ  
ああ 与謝野  
幸せ創る 与謝野町

大地を潤す 野田の川  
生命育み 響きあう  
文化の薫りと機はたの音  
新たな世紀へ 伸びてゆく  
ああ 与謝野  
笑顔かがやく 与謝野町

天の架け橋に 夢はせて  
水鳥遊ぶ 阿蘇の海  
自然と歴史と未来とが  
織りなす絆もすなも たくましく  
ああ 与謝野  
あしたを拓ひらく 与謝野町

## 町歌

町の自然と文化を織り込んだ歌詞は、応募総数 68 点の中から選ばれたもの。

力強く、雄大な旋律と共に町の魅力を表現しています。

(平成 19 年 2 月 1 日制定)



## 町章

与謝野町の頭文字「y」をベースに、水・緑・空といった豊かな自然や、いきいきとした町民の姿を投影した町のシンボルです。

(平成 18 年 3 月 1 日制定)

## 町の花「ひまわり」

キク科の一年草。夏の風物詩となった「与謝野町ひまわりフェスティバル」では、毎年約 20 万本のひまわりが咲き誇ります。

(平成 18 年 8 月 9 日制定)

## 町の木「椿」

春に濃紫紅色の花をつけるツバキ科の常緑高木。国内最長寿級とも言われる「滝のツバキ」は、府の天然記念物にも指定されています。

(平成 18 年 8 月 9 日制定)

# 与謝野町はどんな町？



## 豊かな風土が紡ぐ、豊かな暮らし

与謝野町は、平成18年3月1日に加悦町・岩滝町・野田川町が合併し生まれた町です。総面積108.38km<sup>2</sup>に、約2万2千人が暮らしており、南北約20kmの間に街並みや集落が連なります。

日本海に面した丹後半島を屋根に、南は福知山市、東は宮津市、西は京丹後市などと隣接し、大江山連峰をはじめ、野田川、阿蘇海と豊かな自然に囲まれています。気候は、冬に降水量の多い日本海側の山陰型気候。秋から冬にかけては「うらにし」と呼ばれる季節風が雨や雪を運んでくるため、天気が変わりやすく「弁当忘れても傘忘れるな」と言われてきたほど。春は新緑、夏はひまわり畑、秋は黄金色の稲穂と紅葉と、季節毎に表情を変え、町全体を彩ります。



# 与謝野町の数字

平成26年度統計



総面積 (km<sup>2</sup>)

108.38



平均気温 (°C)

14.5



日最大降水量 (mm)

130



人口 (人)

22,260



水稲生産量 (t)

3,310



世帯 (戸)

8,420



農家数 (戸)

821 平成22年調べ



産業従事者 (人)

11,458



丹後ちりめん生産量 (反)

400,192 丹後産地全体



森林面積 (ha)

8,150.88



織物業従事者 (人)

1,059 平成23年調べ



公園 (ヶ所)

10



自動車 (台)

19,448



文化財 (個)

93



観光入込客数 (人)

677,007 平成26年調べ



出生 (人)

149



婚姻 (件)

75



町内最高峰 (m)

832 千丈ヶ嶽



野田川流域延長 (m)

12,764





古代から現在まで

## 与謝野町のあゆみ

与謝野町を含む丹後地方一帯は、国史跡に指定されている蛭子山古墳ほか、数々の遺跡が発掘されているため、古代から文明が開けていたと言われています。

近世に入ると、代々町の顔として受け継がれてきた丹後ちりめんの技法が確立され、それ以降、町全体がちりめんと共に発展していきました。今日では、町独自の有機質肥料「京の豆っこ」の開発や、自然環境に配慮した循環農業を推進するなど、農業でも大きな成果をあげています。

/ 主な年表

古墳時代 (4世紀頃)	蛭子山古墳が築造。(古代丹後王国の繁栄)
戦国時代 (16世紀頃)	丹後国守護一色氏が治める。
享保7年 (1722)	ちりめん織りの技術が加悦谷に伝わる。
大正15年 (1926)	加悦鉄道が営業を開始する。
昭和2年 3月(1927)	北丹後地震 M7.3 (丹後震災)
平成18年 3月(2006)	加悦町・岩滝町・野田川町の3町が合併し、与謝野町が誕生。
平成18年 4月(2006)	初代町長に太田貴美氏が就任、18人の議員が決定。
平成18年 8月(2006)	「町の木」「町の花」がそれぞれ「椿」と「ひまわり」に決定。
平成19年 3月(2007)	与謝野町合併1周年記念事業を開催し、「与謝野町歌」披露。
平成20年 1月(2008)	与謝野町町民憲章制定。
平成21年 4月(2009)	加悦町・岩滝町・野田川町商工会が合併し、与謝野町商工会が発足。
平成22年 2月(2010)	食味ランキングで丹後産コシヒカリが西日本で唯一3年連続特Aに。
平成25年 3月(2013)	阿蘇シーサイドパーク竣工。
平成26年 4月(2014)	2代目与謝野町長に山添藤真氏が就任。
平成27年 2月(2015)	丹後産コシヒカリが4年連続、通算12回目の特Aを獲得。
平成28年 3月(2016)	与謝野町合併10周年を迎える。